

The Power of Music

あなたは音楽が好きですか？ また、どんな時に音楽を聞きますか？ 嬉しい時、悲しい時、リラックスをしたいとき、様々な場面で音楽を聴きますよね。では、それは一体なぜでしょう。私の経験から考えてみました。私は現在吹奏楽部に所属していて、クラリネットを担当しています。そこでは、音楽の持っている力や魅力についてたくさん考えさせられました。その経験が三つあります。

一つ目は、まだ中学一年生だったころ、思ったように技術が上達せず落ち込んでいました。先輩方についていけないのかという不安もあり、もうクラリネットをやめてしまいたいとも思いました。そんな時、プロのクラリネット奏者の演奏会があったので、せっかくの機会だと思い、聞きに行きました。それは、私が思っていたよりも素晴らしいもので、大きな衝撃と感動を受けました。私が吹いていた音とは全く違い、あたたかく透明な音色で、今までの暗い気持ちが吹き飛びました。また、自分もこんな音を目指そうと前向きな気持ちになれました。そして、たくさん努力をしました。部活に早く来たり、自主練習で残って練習したりと、長い時間楽器に触れました。2年生後半から、ソロをやらせてもたえることになったときはとても嬉しかったし、今までやってきてよかったと感じました。今度は後輩たちが私の音を目指してくれるように今後も頑張っって練習をしていきたいと思いました。

二つ目は、音楽で国境を越えた交流があったことです。一年前、私達の元へ、メキシコからのお客様が来ました。彼はホセさんといい、メキシコのバリトン歌手で、私達の演奏と共に歌ってくれるというのです。そこで、事前に彼から教えてもらっていたメキシコの曲、ミナナパンチャを練習することになりました。当日は、言葉が全く通じなかったため、私を含め、部員全員が不安と緊張を抱えていました。しかし、彼の歌と合わせて、一緒にミナナパンチャを演奏したとたん、そんな気持ちは吹き飛び、全員が明るい気持ちになりました。その後は、彼のメキシコの歌を聴いたりとお互いに楽しい時間を過ごしました。その時、私は、音楽は言葉と同じような役割、力があると思いました。これから、言葉が通じないことを恐れず、音楽で世界中の人々と会話をしてみたいです。

三つ目は、部活動の中で、音楽と社会との繋がりをたくさん感じる事ができました。布佐中学校吹奏楽部の主な活動目的は、コンクールで金賞をとることはありません。『広げよう笑顔、音楽の輪』という目標のもと活動をしています。具体的には、地域への貢献を重視し、イベントなどに数多く出演しています。毎年3月31日にある鎮魂竹宵の集いでは、東日本大震災で亡くなられた人々に、地震が起きた2時46分に黙とうをささげ、演奏で被災地を応援しました。また、被災地への寄付金として送るための募金のお手伝いもしています。それが、私達のもっとも大きなイベントである、春のコンサートです。このコンサートは、東日本大震災で被災地となった地元の布佐を元気づけようと、私達の先輩たちが今まで引き継いできてくれました。毎年地域の方がたくさん来てくださり、今では体育館いっぱいにお客さんが集まってくれるようになりました。そこでは、私達の演奏をお金で評価してもらってチャリティーも行っています。集まったお金は布佐の町や、陸前高田市へ寄付金として送っています。今でも家に帰ることができずに不便な生活をしている人はたくさんいます。そんな状況が私達の音楽で、少しでも良くなっているのなら、それは私達にとって幸せであり、これからの励みにもなります。

このように、音楽は自分自身が楽しむだけでなく、周りの人にも元気や幸せを与えます。人はなぜ音楽を聴くのか。それは音楽には人を幸せにする力があるからだと思えます。そんな音楽の力を布佐の町だけでなく、日本全体でも感じてもらいたいです。まさに今、日本では震災、自然災害が立て続けに起こっていて、何人も人が亡くなっています。日本の復興のために私には何ができるだろうか。それこそ音楽の力を使うべきです。音楽は言葉が通じなくても、文化が違えども、誰もが音楽に親しむことができます。私は今後も音楽の力を信じて、聞いてくれている人の心を救えるような、幸せにできるような活動をしていきたいです。また、来年は春のコンサートが記念すべき10回目を迎えます。温かい音楽でお待ちしていますので、みなさん是非お越しください。